

かながわ避難者と共にあゆむ会 神奈川散歩カフェ2016 テーマ・旧東海道を歩く 日本橋から箱根まで

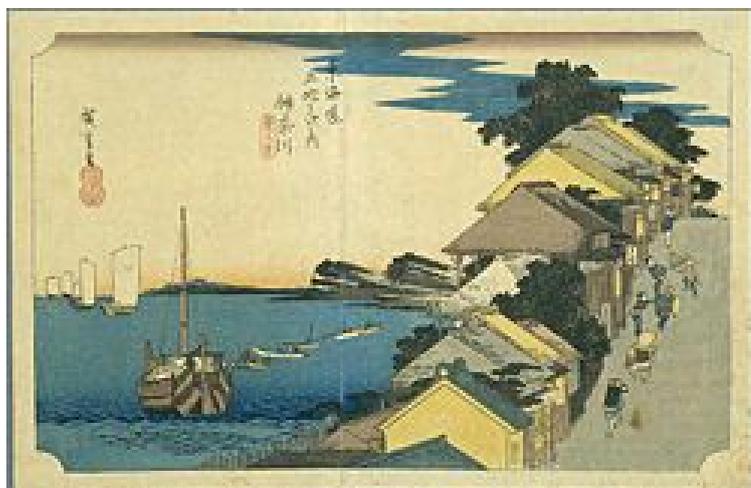
東日本大震災の関係で神奈川に避難されている方々の親睦と健康づくり、そして神奈川の地域を知ってもらうために神奈川近郊の名所・旧跡を季節に合わせて案内する「神奈川散歩カフェ」を企画しました。解散の後は参加者同士で各自お食事を楽しんでもらいたいと思います。この「神奈川散歩カフェ」を一緒に企画し運営していただける避難者の方を募集しています。2015年度より保険料と資料代として一人200円の参加費をお願いすることになりました。

2016年度は「旧東海道を歩く・・・日本橋から箱根まで」とテーマを決めて連続して旧東海道を歩きます。ただし歩く時間が短いので旧東海道の全てのコースを歩くことはせずポイントを訪ねて歩きたいと思います。

7月9日(土)

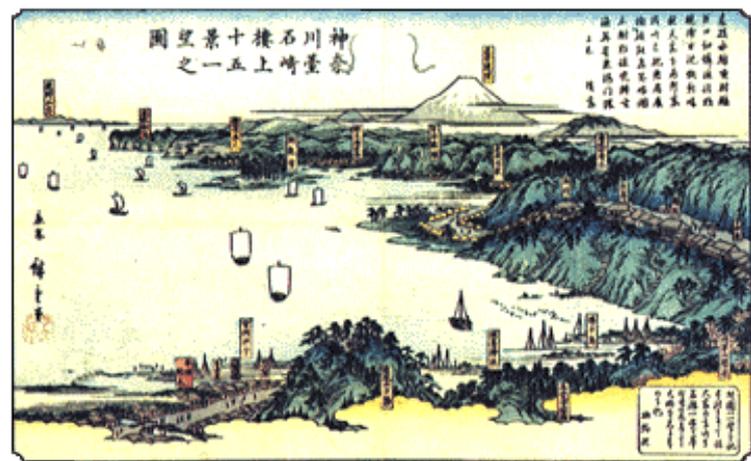
旧東海道・神奈川宿を歩く

午前10時 JR 東神奈川駅改札前集合 参加費200円



神奈川宿

神奈川宿（かながわしゆく、かながわじゆく）は、東海道五十三次の3番目の宿場である。武蔵国橋樹郡、今の神奈川県横浜市神奈川区神奈川本町付近にあった。付近には神奈川湊があった。神奈川宿は神奈川湊の傍に併設された町であり、相模国や武蔵国多摩郡方面への物資の経由地として栄えた。なお幕末には開港場に指定されたが、実際には対岸の横浜村（現在の中区関内地区）が開港となり、開国以降次第に商業の中心は外国人居留地が作られたこの横浜村に移っていった。



東海道五十三次（とうかいどうごじゅうさんつぎ）

江戸時代に整備された五街道の一つ、東海道にある53の宿場を指す。古来、道中には風光明媚な場所や有名な名所旧跡が多く、浮世絵や和歌・俳句の題材にもしばしば取り上げられた。

なお五十三次と称す場合は京都までの場合であり、さらに大阪までを加えて東海道五十七次とする説もある。

飲み物持参・小雨決行 12時頃に解散する予定ですので弁当は各自の判断でお持ちください。

「神奈川散歩カフェ」

- ・避難者対象 参加費200円 定員20名
- ・毎月原則として第2土曜日 10時集合 12時頃解散予定 飲み物持参
- ・当日受付。事前申込は必要ありません。
- ・ガイドが案内します ・小雨決行 ・都合によりコースや距離が変更される場合もあります。
- ・主管 NPO 法人神奈川県歩け歩け協会・問い合わせ先 高坂 090-2729-1246

次回案内

8月13日	土	保土ヶ谷宿	JR 横須賀線保土ヶ谷駅改札口 10時集合	解散 12時頃東戸塚駅
-------	---	-------	--------------------------	-------------